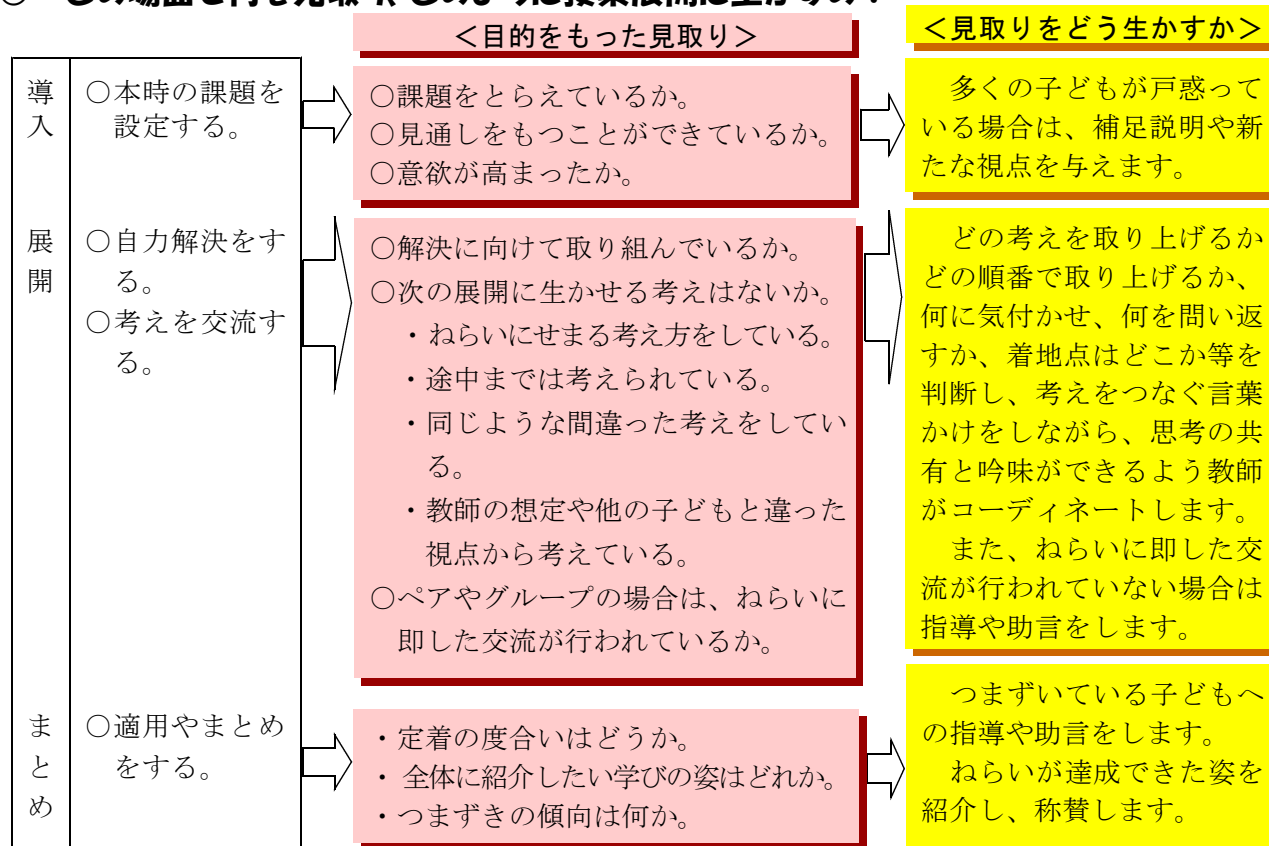


○ **どの場面で何を見取り、どのように授業展開に生かすの？**

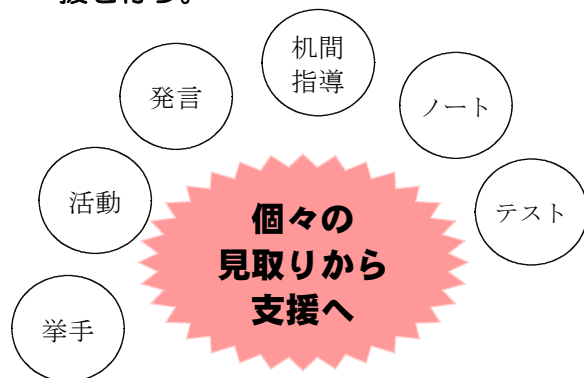


(思考の共有と吟味、教師のコーディネートについてはP. 11・12参照)

○ **机間指導の留意点は？**

- ・ ただ巡視するのではなく、目的をもって机間指導を行う。
- ・ 時間をかけすぎないように時間を決めて机間指導を意図的に行う。
- ・ 「分からない」「できない」も受け止め、次の段階で解決できるよう構想し、指導を行う。

◇ **様々な機会を一人一人を把握し、個人差を受け止め、個に応じた支援を行う。**



学習速度が速い子どもへの支援

- 見直し：解き方や解答を再確認
- 別の方法の発見：多面的な見方や考え方の育成
- 発展問題への挑戦：
意欲の醸成と思考力・応用力の育成
- 教え合いの支援者：理解の深化

学習速度が遅い子どもへの支援

- 一人での追究：確実な理解
* 正答率が高く慎重な子どもに適している
- 教え合いの被支援者：他の子どもからの学び
* 「教える側」と「教えられる側」を固定化させない配慮
- 個別の支援：自らの気付き
* 口頭によるヒント等を与える

作業速度に応じた支援

- 早く終了した場合の指示や約束事
例 「教科書や資料集を読む」
「大切なところに線を引く」
* 子どもが自分で判断しながら学習を進めることができるように

興味・関心や得意分野などを生かした支援

- 子どものよさを見付け、全体に広げる
例 「〇〇さんは、みんなが気付かなかったことをまとめているので、紹介してくれるかな」
* 一人一人に有用感をもたせられるように